



親孝行と素直で 正直な信仰を歩もう

4月大教会教会長会議

立教187年4月14日

大教会長 片山幹太

本島通信

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268
天理教本島大教会
電話 0877-27-3321 (代)
本島通信編集室 R240416-0425-20
奈良県天理市指柳町270-1
本島詰所 〒632-0093
電話 0743-63-1571 (呼)

https://www.honjima.com
Email: webmaster@honjima.com

大教会 朝夕おつとめ時間
【5月1日～5月31日】
朝づとめ 午前6時15分
夕づとめ 午後7時00分

【神殿講話に先立ち】

今月も大教会の月次祭に大勢お帰り下さり、また只今はともどもに世界だすけ、よろづたすけのおつとめを勤めさせて頂き、誠にありがとうございます。

今年は斯道会が結成されて140年の年です。斯道会とは、本島の元の上級である越乃國、その元の上級である河原町、その河原町が教会になる前は斯道会という名称の講社でした。初代は深谷源次郎先生。周囲からは親しみを込めて「結構源さん」と呼ばれる先生で、何でも「結構やなあ」と喜ばれて通られたそうです。

まず与えを喜ばれました。そして喜び難いことも喜ばれました。難しいことはほこりの元になりやすい。それを絶ち切るためにも、喜び難いことも喜ばれました。

さらに喜ばないことも喜ばれました。晩年は両眼が見えない状態でした。

あったけれども、その中も「有難いな、結構やな」と喜ばないことを喜んで生涯を通られた先生だったと聞かせて頂きます。

深谷源次郎先生はお母様が若くお出直しされました。そこから源次郎先生は、父親みずからご飯を作らせては申し訳ないと、生涯かけて源次郎先生ご夫妻がお父様の食事を作られたそうです。

そんな親孝行の源次郎先生も生涯に一度、お父様に反対したことがあります。それは、実はお父様は源次郎さんに商人になってほしいと思われていたそうです。ところが源次郎さんはこれに初めて反対しました。その理由は「商人は駆け引きが多くて、疑い深いから嫌いや。品物の値打ちだけで買って貰えればよいから、職人になる」とのことでした。

そこで鍛冶職人になられました。そこで「正直鍛冶源」と呼ばれるくらい正直者であったそうです。

斯道会の流れにある本島も、結構源さんの信仰を受け継いで今日に至っているように思います。

教祖140年祭に向かう年祭活動にあたっては、改めて親孝行であること、

そして正直で素直である斯道会の信仰に学び、三年千日を歩ませて頂きたいと思えます。

【教会長会議にて】

4月16日夕刻、御本部では「萌出のつとめ」が勤められる予定です。

この「萌出のつとめ」に供えられたおみだね粉種を早苗に育てたものの一部を、本島として今年6月25日、本部のおおわら大裏地区で田植えをさせて頂くことになっていきます。

今年も大勢のひのきしん参加をお願いいたします。

論達第四号にて真柱様は、

「一れつ兄弟姉妹の自覚に基づき、人々が互いに立て合いたすけ合う、陽気ぐらしの生き方が今こそ求められている。」

とお示し下さっています。

陽気ぐらしの生き方とは、「人々が互いに立て合いたすけ合う」生き方であると思案し、「今こそ求められている」時句であることを自覚し、お互い教祖年祭に向かって、成人の歩みを進めさせて頂きましょう。

(文責・本島通信編集室)

素直な心で 年祭活動を通らせて頂こう

大教会准役員

ちややはらよしあき
茶屋原良昭

只今は晴天のご守護を頂きまして、立教187年4月の月次祭を、大教会長様を芯に一手一つに陽気に勤めさせて頂きました。誠におめでとうございました。

さて真柱様は今年の年頭あいさつで、次のお言葉をくださいました。「教祖百四十年祭は、私は前回の年祭に倣って、一月二十六日、一



ならないかを見失わずに、年祭への活動を着実に進めていかなければならないと思っております。」只今は教祖140年祭三年千日の第2年目に当たります。私は、論達の冒頭にある、

「思うところを述べて、全教の心を一つにしたい。」

というお言葉が強く心に響きました。そして論達には

「この教祖の親心にお応えすべく、よふぼく、一人ひとりが教祖の道具衆としての自覚を高め、仕切って成人の歩みを進めることが、教祖年祭を勤める意義である。」

と年祭の意義を明示されています。

そして本島大教会成人目標の中に、
一、一人ひとりが年祭活動を行う
一、一人ひとりが心定めを行い、まずおちばへ一人お連れする
とあります。

年祭活動が始まったとき、私は三年千日を「素直な心で通らせて頂こう」と思いました。

それはまず、広島教区・広島西支部にて支部長の御用がありますので、不安はありますが、素直な心で勇んで勤めさせて頂こうと心に決めました。

ところが更に一昨年12月、大教会長様より、大教会准役員と一斉巡教の巡教員の声を頂きました。これはまったく予期していませんでしたので、ただ驚きました。素直な心で通らせて頂こうと心に決めたことなので、勤めさせて頂いております。

この「素直」という言葉は、昭和62年9月、上級の安藝本中分教会に中山善衛三代真柱様がご巡教に来られたとき、ご揮毫下さったお言葉です。現在、安藝本中の神殿に掲げられております。見るたびに素直にと思うのですが、正直忘れてしまうことがあります。

年祭活動の第1年目は、前半は一斉巡教の巡教員として、後半は「よふぼく一斉活動日」で終わったように思います。

続く第2年目からについては、大教会世話人・宮森与一郎先生が大切なことを3つお教え下さいました。
一つ目は、「日々のをいがけ」
二つ目は、「積極的なおたすけ」
三つ目は、「おちばの理を戴く」です。

宮森先生はまず、「日々のをいがけ」はふわっとしたものでいい。軽いものでいいから、毎日心がけて

匂いをかけようという心。

「積極的なおたすけ」は、機を逃さぬおたすけです。ここ一番、この人をたすける、身上で苦しむ人があつたら、おさづけを取り次がせて下さいと頼む。事情で苦しむ人があれば、どうかお願いごとめでたすけて欲しいとお願ひさせて頂く。

「おちばの理を戴く」は、たすけの元であるおちばへしっかりと心を繋ぎ、この人をおちばへ何としてでも連れ帰ろうという努力です

この三つを心に置いて、あと2年、教祖140年祭に向かってお通り頂きたい、とのことでした。

私の父、茶屋原昭男(本迪分教会3代会長)は身上により自動車免許を取る事ができませんでした。ですから悔しい思いをしたと思います。私が18歳で自動車免許を取ると言った時は反対せずに取らせてもらいました。21歳になったとき「大型免許を取っとけ」と言われました。そのとき私は「必要ないんじゃないの」と言いましたが、「まあ取っとけ」ということでしたから、素直に取りに行きました。

父は先のことが見えていたのか分りませんが、それとも自分ができ

ないことを息子に託したのかもしれない。その大型免許のお陰で、その後30年間、私は鼓笛隊のバスの送迎をさせて頂き、事故なく無事に通らせて頂いたことを心から感謝しています。

深谷源次郎先生(河原町大教会初代会長)は次の教話を残して下さい。

私は神様の話を聞かしてもらって、なんでもどうでも、この結構な道を広めななんと、心がますます勇んで、あちらこちらへ歩かせてもらった。そして斯道会というものを組織して、その掟まで拵えて、それをもって歩いたものや。

もうその時分には、着物は無い、家はない、神様のお働きがなければ、その日食う物もない。が、それでも心を倒さんと運ばしてもらった。神様はいつも、「狭いのが楽しいみやで。小さいからというて不足にはいかん。小さいものから理が積もって大きいなるのや。松の木でも、小さい時があるのやで。小さいのを楽しんでくれ。未で大きい芽が吹くで」と言うてくださった。ああ、本当にありがたいお言葉ですなあ。私は、ちよっ

と分らんんだら、すぐ教祖にお伺い申した。そのときは本席様が傍にいて取り次いでくださった。

〔真実の道 道を啓いた先人・先輩の教話集
【ひながた編】道友社編より〕

私は普段仕事をしています。いろいろとお付き合いのある方がおられます。脳梗塞になられた方の子供さんに「天理教のおさづけ」というのを取り次がせて欲しい」とお願いすると、「それをしたらお母さんは元の様になるの」と問われ、私は返事に窮したことがありました。

この三年千日は、自信を持っておさづけを取り次がせて頂くことを宿題にしたいと思っています。そして成人目標に「まずおちばへ一人お連れする」とありますので、心に置いて通らせて頂くと思っています。

もう少しだけ、お話させてください。私は立教の年号をとっても意識しています。

私知っている教祖年祭活動は教祖100年祭からです。この翌年が立教150年で、教会本部では年号を和暦から立教に変更されました。

分かりやすいものでは、別席札の日付が昭和から立教になりました。それから年を重ねて、今年が立教

187年、教祖140年祭は立教189年になります。

皆さん、立教の年号に慣れ親しみ、日々の生活の中で自然に使わせて頂きましょう。

最後に、私は30年近く吸い続けていたタバコを止めることができました。それは昨年12月に、このたびの神殿講話の御命を頂いたとき、「これは何かをお供えさせて頂く」と思い立ち、嗜好品であるタバコを止められたのです。これが非常に嬉しくて、上級・安藝本中分教会の池田さわか会長様からも「大教会の理ってすこいよね」と言われ、本当にそうだなと思ひ、話をさせて頂きました。

教祖140年祭に向かって残り2年間、どうかお互い素直な心で通らせて頂きましょう。

誠にありがとうございます。

(文責・本島通信編集室)



四月月次祭 祭典役割

四月月次祭祭文

立教百八十七年四月十四日

献饗長 平井真治郎
伝 供 向所隆文・永島宗行・大上道徳・原口実・後藤正治・奥村龍夫・高垣光治・雲庵春彦・片山直明・茶屋原良昭・高島栄造・長尾海和・岩橋秀一・窪田卓夫・白垣初生・香川勝巳・鎌田典夫・滑川善久・大矢万三・
 河村旬一・村田輝夫・古井信・上山康雄・川村吉夫・時久英次・溝口晋太郎・橋口徹・江草克二
雅楽奉仕者 文岡育則・池田恒治・片山秀明・香川島範・上山薫・伊東賢太郎・鎌田康典・伊東慎平・香川靖幸・白垣俊生(順不同)

神殿講話	茶屋原良昭	ちやんぼん 井上 哲	てをどり	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半
		拍子木 窪田 靖明	てをどり	井上 哲	伊東 康成	
		太鼓 伊東 康成	てをどり	岩橋 竜造	横山 正次	
すりがね 篠原 丕王	岩橋 竜造	てをどり	岩橋 竜造	岩橋 竜造		
小鼓 岡崎 八十則	高垣 光治	てをどり	高垣 光治	高垣 光治		
三味線 片山 やすゑ	片山 孝子	てをどり	片山 孝子	片山 孝子		
胡弓 向所 暉美子	横関 明美	てをどり	横関 明美	横関 明美		
		てをどり	川村 かず子	川村 かず子		
		てをどり	梅木 澄代	梅木 澄代		
		てをどり	長尾 善絵	長尾 善絵		
		てをどり	雲庵 まち子	雲庵 まち子		
		てをどり	吉田 要子	吉田 要子		
		てをどり	岩橋 元実	岩橋 元実		
		てをどり	後藤 正治	後藤 正治		
		てをどり	大上 道徳	大上 道徳		
		てをどり	吉田 晴雄	吉田 晴雄		
		てをどり	茶屋原 良昭	茶屋原 良昭		
		てをどり	横山 正次	横山 正次		
		てをどり	長尾 海和	長尾 海和		
		てをどり	高垣 洋子	高垣 洋子		
		てをどり	岩橋 秀一	岩橋 秀一		
		てをどり	吉田 知彦	吉田 知彦		
		てをどり	高島 栄造	高島 栄造		
		てをどり	原口 実	原口 実		
		てをどり	雲庵 春彦	雲庵 春彦		
		てをどり	片山 直明	片山 直明		
		てをどり	片山 勲	片山 勲		
		てをどり	老木 邦光	老木 邦光		
		てをどり	平井 真治郎	平井 真治郎		
		てをどり	大教会 長	大教会 長		
		てをどり	岩橋 慶三	岩橋 慶三		
		てをどり	牧野 道昭	牧野 道昭		
		てをどり	會長 夫人	會長 夫人		
		てをどり	長尾 澄子	長尾 澄子		
		てをどり	池田 さわみ	池田 さわみ		

この神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教本島大教会長片山幹太慎んで申し上げます。
 親神様には陽気ぐらしを見て共に楽しみたいとこの世人間をお創め下され長の年限温かき御守護をもってお守りお育て下さり旬刻限の到来と共によろづ委細の眞実を明かしたすけ一条の道をつけて陽気ぐらしへとお導き下さいます御慈愛の程は誠に有難く勿体ない極みでございます私共は日々勇んで御恩報じの道に励ませて頂いておりますがその中にもこの月は教祖がお生まれ遊ばされてから二百二十六回目のお誕生日をお迎えするゆかりの月にあたりますので只今からおつとめ奉仕者一同慶びの心をついに揃えて座りづとめてをどりを勤めて四月の月次祭を執り行わせて頂きます
 御前には今日の日を楽しみに帰り集いました道の子供達が日頃積り重なる御恵みに御礼申し上げ共におうたを唱和して尚も変らぬ御守護を願ひひとすじ心にお継りする眞実の状をも御覧下さいまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます
 尚この月おらばでは十八日の教祖誕生祭に続いてよろこびの大合唱があり十九日には第百六回天理教婦人会総会が開催されます

入社祭

立教187年4月14日の入社祭はありますんでした。

4月14日(日)
【香川県丸亀市】

天候 晴

最低気温 11.3℃

最高気温 25.8℃

平均気圧 1020.3 hPa

平均湿度 70%

平均風速 1.7 m/s

日照時間 11.2 時間

降水量 0.0 mm

更には二十九日の全教一斉ひのきしんデーには世界中の道のよふぼくが国々所々で家族揃ってひのきしんに励ませて頂きます
 私共は教祖百四十年祭への歩みの最中教祖にご安心頂きお喜び頂く上に積極的教祖の道具衆として働かせて頂きますよう毎日を感謝と人たすけの心で努め切らせて頂く所存でございます
 何卒届かぬ点は幾重にもお仕込み下さいますして互いに立て合いたすけ合う陽気ぐらしの世の状に一日も早く立て替わりますようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます
 (原文のまま)

第111回本島団鼓笛隊春季合宿

本島団鼓笛隊(佐藤道子部長)では、3月28日から4月1日までの4泊5日間、本島大教会を会場に「第111回本島団鼓笛隊春季合宿」を実施。総勢89名(ドリーム隊10名、本隊37名、高校生11名、リーダー31名)が参加しました。



大教会での合宿は5年ぶりとなることから、実施にあたって準備の段階から大教会において何度も話し合いを重ね、合宿に臨みました。

ひのきしん、おてなおし、夜の練習など、順調にプログラムを進めました。春の学生おちばがえりに参加していた学生等4名も29日朝に合流しました。

天気は初日28日は雨天となったものの、29日以降は天気に恵まれ、鼓笛練習を始め、

期間中、婦人会MOMMOの会が「鼓笛隊応援ひのきしん」として、鼓笛隊服のワッペン付けを行いました。この夏から隊服ワッペンを面ファスナー(マジックテープ)で着脱できるようにするための作業で、ていねいにかつ丈夫に仕上げられました。(ワッペン付けは隊服全体の3分の1ほどが終了しました。今後夏に向けて引き続き作業が行われることになっています)



31日は神殿前にて御供演奏を実施。「エレメンタリーマーチ」「スコットランド・ザ・ブレイブ」「RYG」「ありがとう夏のおちば」「パレード・ザ・ホンジマ」の5曲を演奏しました。

大教会長様は「鼓笛隊は一人ではできません。周りの人と関わり合いながら、思いやりの心、合わせる心、魅力的な心を養いましょう」と述べられました。

昼食は大教会神殿と信者会館の中庭で三色弁当を食べたり、お餅をついたり、つくたてを食べたり、高校生のダンス、リーダーのお笑いパフォーマンスなど盛り上がり、楽しいひとときを過ごしました。

最後に全員で宿舎掃除、講堂の畳入れを行い、夏の再会を誓って、31日夕方の便で関東・関西・岡山・本島分隊が、翌1日朝に九州の分隊が大教会を立ち帰路につきました。

今回の合宿では、ひのきしん者29名が参加したほか、教会や個人からのおやつ等たくさんさんの差入れを頂きました。

婦人会MOMMOの会

婦人会本島支部MOMMOの会は3月28日から31日まで、本島大教会において「鼓笛隊応援ひのきしん」と「接待作法勉強会」を実施。期間中26名が参加しました。

MOMMOの会とは、子育て中の若いお母さんと、同年代の若い女性の会。昨年より公式LINEアプリを利用して約50人の会員と関係者をつなぐことができました。

接待作法勉強会では、大教会客殿にて佐藤道子委員を講師に、抹茶の点て方、茶菓の差し上げ方、戸の開け閉め方



などを、大教会来賓接待で行っている作法に基づいて学びました。

また鼓笛隊応援ひのきしんでは、夏のこともおちばがえりで着用する鼓笛隊服のワッペンを、面ファスナー(マジックテープ)を利用して着脱できるようにする作業を行いました。根気のいる作業ですが、和気あいあいとひのきしんが行われました。

挨拶に立った片山かおり支部長は、今年大教会より少年会本島団成人目標が発表されたことを受け、「子供は一番信頼している人のことを見ていると思います。子育て中のお母さんだったり、教会の奥さんだったり、一番頼りにしている人のことを見ていると思うのです。ですからちょっと先を行く私たちが、教祖のみ教えを知っていること、それを身に行っていることが大事だと思えます。少年会員の成人目標も、まず私たちが実行させて頂きましょう」と述べられました。

春の学生おちばがえり

「立教187年春の学生おちばがえり」は3月28日、「次代を担うようばくへ」をスローガンにおちばで開催され、本島学生会(片山元一委員長)から27名(直属参加15名、教区参加12名)と学生担当委員9名が集いました。

講堂で大教会長様夫妻と一緒にに会食(オリジナルサンドイッチ)を楽しみました。その後、学生会委員長と継ぎと、片山直道新委員長とスタッフの紹介があり、解散しました。



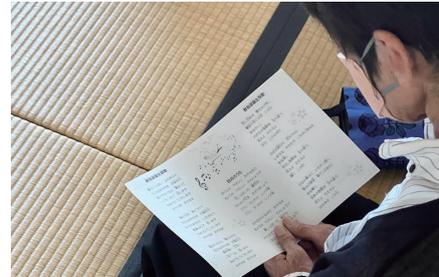
式典に先立ち27日午後、直属参加12名が詰所に集合し、本部夕づとめ参拝後、西泉水プール前広場で催された「おたのしみ行事」に参加しました。

28日式典後の直属アワーでは教区参加の学生も合流し、



教祖お誕生まつり

今年4月18日は教祖226回目の誕生日を迎えられるにあたり、大教会では4月月次祭終了後、教祖お誕生まつりを実施。参拝者全員で「教祖御誕生讃歌」「四月のうた」「教祖御誕生祝歌」の3曲を歌い、大教会長様のおよろこびの言葉に続いて、参拝者全員でお祝い申し上げました。その後、教祖のお下がり(お菓子)を頂きました。



これに先立ち前日の夕づとめ後、歌の練習を実施。教祖御誕生讃歌と祝歌は2曲ともアフタクトの拍子であることを意識し、リズム良く歌い上げる練習をしました。(アフタクト。西洋菓用語のひとつで、楽曲が第一拍以外から開始すること。)

計報

本肥分教会長 石井常正氏



石井常正氏(本肥分教会2代会長)は去る令和6年4月5日午後11時9分お出直しになりました。享年85歳。

葬儀はみたまうつしを4月8日午後6時30分より、告別式を翌9日午後12時30分より、本肥分教会(長崎県壱岐市)において大教会長斎主のもと執り行われました。
石井常正氏略歴 昭和14年2月1日生まれ。昭和33年1月31日、おさづけの理拝戴。同年2月29日、教会長資格検定合格。同年3月3日、天理教専修科卒業。同年3月26日、教人登録。同年6月22日、大教会神殿ふしん・ふしん方実施部庶務係。昭和50年12月22日、大教会神殿奉仕人。立教156年4月26日、本肥分教会2代会長拝命。立教159年10月7日、本肥分教会神殿屋根葺替奉告祭。立教166年4月14日、大教会布教部委員。立教170年6月2日、本肥分教会神殿修築並びに屋根葺替奉告祭。立教183年11月26日、本肥分教会附属建物増築。大教会長在職期間31年間。

本埼台分教会長 根岸正行氏



根岸正行氏(本埼台分教会2代会長)は去る令和6年4月17日午前4時お出直しになりました。享年82歳。

葬儀はみたまうつしを4月20日午後6時より、告別式を翌21日正午より、茨城県鹿嶋市内の葬祭場において片山好治本浜分教会長斎主のもと執り行われました。
根岸正行氏略歴 昭和16年8月10日生まれ。昭和36年2月5日、おさづけの理拝戴。昭和37年4月5日、若芽会委員長。昭和37年、大教会神殿ふしんひのきしん。昭和51年3月27日、修養科第41期修了。昭和53年5月19日、教会長資格検定合格。同年5月29日、教人登録。立教158年2月26日、本埼台分教会2代会長拝命。同年11月22日、大教会神殿奉仕人。同年12月24日、本埼台分教会任命移転建築改称奉告祭。茨城教区・常南行鹿支部長。大教会長在職期間29年10ヶ月間。

教祖140年祭 (第2回) 教会長夫妻おたすけ推進のつどい

第2回目となる「教会長夫妻おたすけ推進のつどい」が4月17日午後1時より本島詰所4階講堂にて開催されました。

これは教祖年祭活動の第2年目にあたり、各々の心定めと実行をさらに前に進めるため、本部おたすけ委員会より打ち出され、各直属ごとに独自のプログラムを編成して実施されるもの。

今回は、前回1月25日に参加できなかった教会長夫妻が対象となり、参加者は48名(内教会長22名、教会長配偶者18



名、その他8名)。前回の74名と合わせると、計122名の参加となりました。

プログラムは前回と同様に、大教会長あいさつ、内統領ビデオメッセージ、講話、ビデオ「実動する教会長の姿」、ねりあい(テーマ①年祭活動の一年を振り返り、テーマ②三つの要点について取り組み方)です。

講話は本部准員・松村孝吉先生より約1時間頂きました。松村先生は「日々のにをいがけ」「積極的なおたすけ」「おちばの理を戴く」について、ご自身の体験談をもとに優しく分かりやすくお話しくださいました。

つどい終了後、全員で本部夕づとめに参拝しました。



第106回婦人会総会・本島支部の集い

天理教婦人会第106回総会は春うららかに、4月19日午前9時30分より本部中庭を主会場に開催され、国の内外から約2万1千400人の会員が参集しました。本島支部(片山か

おり支部長)からは約140名が参加。朝から澄み切った青空が広がった親里で、婦人会長様のご挨拶、真柱様メッセージを聞かせて頂きました。

その後、本島詰所に戻り、総会のふりかえりを行いました。11班に分かれ、約1時間、真柱様と婦人会長様のお言葉を受けて、思うところを話し

合いました。

また総会に先立ち、前日の18日夕づとめ後は、「本島支部の集い」を詰所4階講堂にて開催。11名が集いました。片山かおり支部長の挨拶に

続いて、斉藤かよホルル委員長が講話を行いました。斉藤氏は「当たり前という

ことはない、ということの気づきから得た、かしのもの・かりものの感謝」と「心を澄ます方法」について、自身の体験談を約20分間述べられ、会場内は深い共感に包まれました。

青年会・能登被災地へ

青年会本島分会(伊東賢太郎委員長)では、去る4月19日から21日の日程で、第1回となる能登半島地震被災地へのきしんに出動。本島分会より9名、梅谷分会9名、明和分会7名と合同の総勢25名で行いました。



被災地の要請により、住宅の畳運び、瓦礫撤去、パンケータキ炊き出しを行いました。活動は今後も非定期ながら継続する予定です。

「天理教の時間」
家族円満
かぞくえんまん
天理教道友社
音声コンテンツ
スマートフォンで
ご視聴できます
気づいていますか？身近にある幸せ



天理教の時間『家族円満』
週1回(金曜日)配信
教友のエッセイや教え



「おやさまの情景」
月1回(上旬)配信
『続・おやさまの情景』拝読

スマートフォンでQRコードを読み込み、「ライブラリに保存」してご視聴ください。

すき間の おはなし

天皇行幸記念門柱ミステリー



真南棟と門柱

昭和6年6月26日から昭和9年10月26日にかけて、おぢばでは神殿・南礼拝場ならびに教祖殿ふしん(いわゆる昭和ふしん)が行われ、本島分教会(当時)から建築に必要な石材一切の献納(献石)が行われました。献納された石材は、神殿建築の礎石だけでなく、意外なところにも残されています。

それが「天皇行幸記念門柱」です。現在の真南棟南側に建っている花崗岩の門柱で、もともとは天理大学(旧天理外国語学校)にありました。

昭和7年11月11日、奈良県で陸軍特別大演習が行われ、昭和天皇が現在の天理市へ行幸され

ました。その時の記録を、奈良県立図書館情報館の資料に求めました。

「演習とは軍事訓練のことで、戦前の日本では一般の道路や民有地をも使った演習がさかに行われていた。『特別大演習』とは軍の大元帥であった天皇が参加する演習を指し、明治後期以降、戦時などを除いて毎年秋に全国各地のどこかで行われており、年中行事化していた。」

「演習は、笠置や奈良市といった大和平野北端から南進する北軍と、五條や河内長野方面から北上する南軍が法隆寺―丹波市(現天理)を結ぶ線です。11月11日に衝突するという想定で行われた。そのため、両者の審判的役割を果たす野外統監部は、11日に西乗鞍古墳(現天理市柚之内町)に置かれた。」

「昭和天皇は(中略)11月11日には畝傍御陵参拝のち、大阪電気軌道(現近鉄)丹波市駅から自動車で天理教庁(本部)前を経、天理外国語学校へ向かった。この沿道周辺が奈良県の各種団体奉迎場所とされ、約35万の奉送迎者で埋められた。特徴的な

は、天理教各教会長や天理教関係学校生徒がうち約20万人を占めていることである。」

「昭和天皇は天理外国語学校で馬に乗り換え、現天理市柚之内町西乗鞍古墳に設置された野外統監部に至る。説明を受けるなど演習を統監後、乗馬して南下夜都岐神社(現天理市乙木町)前で右折して二階堂駅前に至るまで戦線を視察した。」

(第49回奈良県立図書館戦争体験文庫資料展示・2018年3月発行より)

昭和天皇はこの天理外国語学校の「天皇行幸記念門柱」を通り、自動車から馬に乗り換えられたと考えられます。昭和ふしんの最中に急きょ行幸のため建立が決まり、本島から石材が運ばれたのではないのでしょうか。

ところで今から30年以上昔になりますが、天理大学の早坂正章教授の講義で強く印象に残っている話があります。それは教



白馬に騎乗し視察する昭和天皇
場所は夜都岐神社付近
出典：奈良県立図書館情報館資料

紋についてです。

「天理教の教紋は『丸に梅鉢』で、中山家の紋であったと言われている。しかし教祖は紋に十二弁の菊紋を使われていた。その証拠に、教祖伝第九章「御苦勞」兩乞づとめのところに次の通り記されている。

『男女とも、教祖のお召下ろし赤衣を、差渡し三寸の大きさに切り、十二弁の縫取りした紋を、背中に縫いつけていた。』(260頁)

これは教祖のご指示があつたのことに考えるのが自然だ。

しかし菊紋は皇室の菊花紋(十六葉八重表菊)に類似しているため、以後は中山家の家紋を使うことになった。十二弁の菊紋の意匠を親里に唯一残したところがある。それが「天皇行幸記念門柱」だ。上から見ると十二弁の菊紋に見えるだろう。」



朝、登校する生徒と門柱

なるほど、天皇陛下の行幸を歓迎するために、あえて十二弁の菊紋の意匠門柱を石材で建立し、未来永劫に残るものにしたのなら、その深謀遠慮にゾクゾクしてきませんか。(あくまで個人的見解による仮説です)

そこで私は門柱の大きさが気になりましたので、実際に測ってみました。

門柱の円周は5.7m。高さは2尺(62cm)の石材が11段重ねられていて約6.8mになります。そこから円柱の体積を求め、花崗岩の比重2.7を掛けあわせると、質量は46.8tであると計算できました。

と言ってもピンときませんが、軽自動車の重さが約700kgだとすると、門柱1本の重さは軽自動車67台分になります。相当重いですね。しかも2本あります。

いつか真南棟の南側へ行くことがあったら、ぜひこの門柱を触ってみてはいかがでしょうか。不思議なことこの1対の門柱、東西並行して建っているのではなく、東側の門柱が1mほど北側に建っていることも測ってみて分かりました。どうしてずれてしまっているのか、知っている人がいらっしやいましたら教えて頂けたら嬉しいです。

(むかいじよ)

事情はいつ

(立教187年4月26日)
 台たい壇だん教会
 教会長 リン・ミツノ・ソー
 移転願
 632 EL PENTAD Rd.,
 DANVILLE, CA 94526
 U.S.A.

臨時祭典願
 鎮座祭 立教187年7月27日
 奉告祭 立教187年7月28日
 以上

おさづけの理拝戴

本 廣 迫田拓也
 (立教187年3月分) 【計1名】

修養科第992期修了

(立教187年4月27日付)
 肥後八峰 肥後 信
 【計1名】

教人登録

(立教187年3月25日付)
 大松峰 松下尚一
 【計1名】

教会長資格検定合格

(立教187年4月17日付)
 大松峰 松下尚一
 【計1名】

をびや許し

(立教187年3月分)
 新信峰 出水衣綾子
 【計1名】

証拠守り下附

(立教187年3月分)
 ホノルル1、本伯1
 【計2名】

大教会人事

(立教187年4月14日付)
 本島学生会
 委員長 片山直道
 副委員長 高垣ひかり
 委員 山内彰子
 同 片山昇太
 同 長尾直太郎
 同 片山菜々
 以上

大教会長動向

▼5月(予定)▲
 5日、本太分教会巡教
 8日、本柳分教会巡教
 10日、フィリップン教会巡教
 12日、渋谷分教会巡教
 13日、本岡崎分教会巡教
 18日、本高分教会巡教
 22日、大教会月次祭執行
 24日、修養科門出まなび
 25日、かなめ会委員会
 26日、本部月次祭参拝
 27日、かなめ会
 31日、神峰分教会遷座祭
 以上

ろくぢ会 (立教187年4月分)

▼本島△片山幹太・片山かおり・香葉子・幹太郎・好次・昇太△片山秀明△長尾真実・幸太 ▼本樺△大上ほの香・はる香・太吉 ▼本浜△片山清枝・正枝・誠 ▼崇徳分教会 ▼本高△菅岡新 ▼本新田▽窪田教一・万里衣・千穂 ▼ポートルランド△片山和信・陽子・昇慶・竜次
 ご芳志に厚くお礼申し上げます

布教部報告(4月分) 数字は本年の提出回数です

統計 (3月1日~31日)

にをいがけ名簿提出教会 (4月)				おさづけ取次報告教会 (4月)				教会名							
本	島	1	4	本	島	4	4	本	島	初	中	登	條	教	検
樺	太	4	4	樺	岡	4	4	本	島	席	席	壇	科	人	定
倉	岡	3	3	本	本	3	3	本	本	1	2	の		講	講
本	樺	4	4	本	本	4	4	本	本	2	2	種		習	
本	京	4	4	本	本	4	4	本	本	2	2				
本	草	4	4	本	本	4	4	本	本	1	1				
本	三	2	2	本	本	2	2	本	本	2	2	1			
本	惠	4	4	本	本	4	4	本	本	陽	陽				
本	惠	4	4	本	本	4	4	本	本	吉	吉				
本	静	3	3	本	本	3	3	本	本	倉	倉				
本	日	4	4	本	本	4	4	本	本	大	大				
本	米	4	4	本	本	4	4	本	本	松	松				
本	米	2	2	本	本	4	4	本	本	峰	峰				
本	千	4	4	本	本	4	4	本	本	肥	肥				
本	千	3	3	本	本	4	4	本	本	八	八				
本	千	3	3	本	本	4	4	本	本	峰	峰				
本	攝	4	4	本	本	4	4	本	本	仙	仙				
				本	本	4	4	本	本	陽	陽				
				本	本	4	4	本	本	肥	肥				
				本	本	4	4	本	本	後	後				
				本	本	4	4	本	本	八	八				
				本	本	4	4	本	本	峰	峰				
				本	本	4	4	本	本	仙	仙				
				本	本	4	4	本	本	肥	肥				
				本	本	4	4	本	本	八	八				
				本	本	4	4	本	本	峰	峰				
				本	本	4	4	本	本	仙	仙				
				本	本	4	4	本	本	陽	陽				
				本	本	4	4	本	本	肥	肥				
				本	本	4	4	本	本	後	後				
				本	本	4	4	本	本	八	八				
				本	本	4	4	本	本	峰	峰				
				本	本	4	4	本	本	仙	仙				
				本	本	4	4	本	本	陽	陽				
				本	本	4	4	本	本	肥	肥				
				本	本	4	4	本	本	八	八				
				本	本	4	4	本	本	峰	峰				
				本	本	4	4	本	本	仙	仙				
				本	本	4	4	本	本	陽	陽				
				本	本	4	4	本	本	肥	肥				
				本	本	4	4	本	本	後	後				
				本	本	4	4	本	本	八	八				
				本	本	4	4	本	本	峰	峰				
				本	本	4	4	本	本	仙	仙				
				本	本	4	4	本	本	陽	陽				
				本	本	4	4	本	本	肥	肥				
				本	本	4	4	本	本	八	八				
				本	本	4	4	本	本	峰	峰				
				本	本	4	4	本	本	仙	仙				
				本	本	4	4	本	本	陽	陽				
				本	本	4	4	本	本	肥	肥				
				本	本	4	4	本	本	後	後				
				本	本	4	4	本	本	八	八				
				本	本	4	4	本	本	峰	峰				
				本	本	4	4	本	本	仙	仙				
				本	本	4	4	本	本	陽	陽				
				本	本	4	4	本	本	肥	肥				
				本	本	4	4	本	本	八	八				
				本	本	4	4	本	本	峰	峰				
				本	本	4	4	本	本	仙	仙				
				本	本	4	4	本	本	陽	陽				
				本	本	4	4	本	本	肥	肥				
				本	本	4	4	本	本	後	後				
				本	本	4	4	本	本	八	八				
				本	本	4	4	本	本	峰	峰				
				本	本	4	4	本	本	仙	仙				
				本	本	4	4	本	本	陽	陽				
				本	本	4	4	本	本	肥	肥				
				本	本	4	4	本	本	八	八				
				本	本	4	4	本	本	峰	峰				
				本	本	4	4	本	本	仙	仙				
				本	本	4	4	本	本	陽	陽				
				本	本	4	4	本	本	肥	肥				
				本	本	4	4	本	本	後	後				
				本	本	4	4	本	本	八	八				
				本	本	4	4	本	本	峰	峰				
				本	本	4	4	本	本	仙	仙				
				本	本	4	4	本	本	陽	陽				
				本	本	4	4	本	本	肥	肥				
				本	本	4	4	本	本	後	後				
				本	本	4	4	本	本	八	八				
				本	本	4	4	本	本	峰	峰				
				本	本	4	4	本	本	仙	仙				
				本	本	4	4	本	本	陽	陽				
				本	本	4	4	本	本	肥	肥				
				本	本	4	4	本	本	後	後				
				本	本	4	4	本	本	八	八				
				本	本	4	4	本	本	峰	峰				
				本	本	4	4	本	本	仙	仙				
				本	本	4	4	本	本	陽	陽				
				本	本	4	4	本	本	肥	肥				
				本	本	4	4	本	本	後	後				
				本	本	4	4	本	本	八	八				
				本	本	4	4	本	本	峰	峰				
				本	本	4	4	本	本	仙	仙				
				本	本	4	4	本	本	陽	陽				
				本	本	4	4	本	本	肥	肥				
				本	本	4	4	本	本	後	後				
				本	本	4	4	本	本	八	八				
				本	本	4	4	本	本	峰	峰				
				本	本	4	4	本	本	仙	仙				
				本	本	4	4	本	本	陽	陽				
				本	本	4	4	本	本	肥	肥				
				本	本	4	4	本	本	後	後				
				本	本	4	4	本	本	八	八				
				本	本	4	4	本	本	峰	峰				
				本	本	4	4	本	本	仙	仙				
				本	本	4	4	本	本	陽	陽				
				本	本	4	4	本	本	肥	肥				
				本	本	4	4	本	本	後	後				
				本	本	4	4	本	本	八	八				
				本	本	4	4	本	本	峰	峰				
				本	本	4	4	本	本	仙	仙				
				本	本	4	4	本	本	陽	陽				
				本	本	4	4	本	本	肥	肥				
				本</											



大教会からの お知らせ

4月14日教会長会議連絡事項

三代真柱様 十年祭

【教会本部】

三代真柱 中山善衛様十年祭は来たる6月24日、教会本部において執行されます。

宮森先生おてなoshi

【おつとめ修練部】

- 日時：5月25日(土)午後3時より
- 会場：本島詰所4階講堂
- ※急きょ変更になる場合もあります。

みちのだいおはなし会



【婦人会本部】

- 日時：5月26日(日)午後1時～2時
- 会場：東講堂
- 講師：吉福はる乃(西鎮委員会会員) 岩田喜美代(鶏林支部長)
- ※どなたでも入場できます。託児はありません。

能登半島地震救援支援有志隊

【有志隊】

- 第1回日程：5月26日～28日
5月26日夜、本島詰所出発。27日は午後3時頃まで活動し現地出発。28日午前1時頃、本島詰所到着
- 作業内容：おもに倒壊家屋の片付け
- 備考：現地での食事や入浴費用は各自負担。諸費用(燃料費・レンタカー代等)は参加人数で均等割。活動にあたっての装備品(ヘルメット、工具類)は大教会より借用。個々の装備(安全靴、作業着、軍手等)は各自準備。
- 担当役員：岡崎八十則
- 担当窓口：牧野善明
(080-5407-4004)

おやさとふしん青年会ひのきしん隊

【青年会本島分会】

- おやさとふしん青年会ひのきしん隊 6月隊(70周年記念)
- 隊期：6月3日(月)より22日(土)
本島分会は、6月7日と8日、14日と18日に入隊します。
 - 宿泊：第百母屋(日帰り入隊も可能です)
 - 家族入隊日：6月8日(土)
ひのきしん隊に婦人会員と少年会員も入隊できるようになりました。家族揃っておちばでひのきしんできます。
 - 担当：伊東賢太郎
(080-8738-8349)

おおうら

大裏地区田植えひのきしん



【伏せ込みひのきしん係】

- 三年千日おちば伏せ込みひのきしん
- 内容：大裏地区田植えひのきしん
 - 日時：6月25日(火)
午前9時～ひのきしん終了まで
 - 送迎：8時50分詰所玄関前より出発
 - 場所：大裏地区(天理市豊田町)
 - 服装：Tシャツ、短パン(海水パンツ)、サンダル、帽子
※濡れても汚れてもよい服装
 - 作業内容：苗の手植え等
 - 参加対象：教会長夫婦および希望者
 - 補足：ひのきしんは内容によって午前中のみになる場合もあります。食事(当日の昼食含む)、宿泊の予約は各自詰所へお申込みください。
 - 担当者：岡崎八十則・永島宗行
 - 参加申込みは、6月22日までお知らせ下さい。

フェリー毎月20日運賃無料

【総務部】

丸亀市の離島支援策により、4月より毎月20日のみ旅客運賃が無料となります。(本島港⇄丸亀港・児島観光港ともに)

<https://www.honjima.com/>



は、本島ドットコムより関連資料をダウンロードすることができます。トップページ>各種ダウンロード

こどもおちばがえり

【教会本部】

こどもおちばがえり要項

- 期間：2024年7月27日～8月4日
- 要項：インターネットで検索「こどもおちばがえり オフィシャル」
- 留意点：本年のこどもおちばがえりは、インターネットでの申込となります。全教会に配布する「申込キー」で、帰参人数とカレー食数の申込ができます。カレー食数には制限があります。行事参加の事前申込はありません。帰参当日に各会場にて受付をおこなってください。定員制行事のみインターネットでの当日予約ができるようになります。詳しくはオフィシャルサイトを十分にご確認ください。

5月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈本部食堂ひのきしん〉

- 期間：5月16日～31日
- 派遣：渋谷

〈大教会・食堂ひのきしん〉

- 期間：5月21日～22日
- 派遣：本攝

〈詰所・食堂ひのきしん〉

- 期間：5月25日～26日
- 派遣教会：本浜、本中國

大教会5月月次祭ライブ中継

【本島通信編集室】

- 対象：5月22日大教会5月月次祭に帰参できないため、ライブ中継視聴を希望する方
- 申込方法：
メールで、live@honjima.comに「ライブ希望」と「教会名・氏名」を記入してお申し込みください。当日朝ライブ視聴できるアドレスをメールでお知らせします。
- 申込締切：5月21日午後5時まで
- ご注意：ライブ中継は毎月のお申し込みとなります。

